

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	理科総合 22e101		担当教員 (実務経験)	輕部 論 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	10	時間数 20時間
授業目的	医療の基礎となる生理学・生物学を理解する。身体の概要・細胞・遺伝・生体防御の基本的な事柄を理解する。				
到達目標	生理・生化学で使う化学式、化学反応を活用できる。細胞、人体の基本的機能を説明できる。				
テキスト・ 参考図書等	・サイエンスビュー生物総合資料 4訂版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
その他	10%				
履修上の 留意事項	物理・化学、生理学・生物学の基礎的・基本的事項を板書やプリント等を使いながら、学習をすすめていく。学習に関連した演習問題を授業の中で扱い、小テストを実施。これから先、生理学・生物学をしっかり学ぶと、理解度が断然違ってくる。医療基礎としてしっかり身に付けること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	化学	原子構造、原子量、分子量、物質量、溶液の濃度		
	2	化学	化学結合・化学反応、酸・塩基、酸化還元		
	3	生物学	糖、蛋白質、脂肪、ATP		
	4	生物学	細胞・DNA・タンパク質		
	5	生物学	神経系		
	6	生物学	循環系、肝臓・腎臓		
	7	生物学	呼吸器、消化器		
	8	生物学	ホルモンによる調整、内部環境と恒常性		
	9	生物学	生体防御		
	10	物理学(力と仕事)	物体の変形・剪断、位置エネルギー・運動エネルギー、高エネルギー事故		
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	国語・文章理解 22e102		担当教員 (実務経験)	湊 久恵 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	公務員試験の教養科目としての国語及び文章理解について基礎力を養成する。					
到達目標	①社会人として必要最低限の国語表現ができる。②文章理解は、与えられた文章のキーセンテンスを見つけ出すことができる。					
テキスト・ 参考図書等	・地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 国語・文章理解					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	10%				
履修上の 留意事項	国語辞典(電子辞書可、スマホ不可)を持参。また、ノートを準備すること。学生の能力により内容を変更することがある。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	ガイダンス、自己紹介	自己紹介(公務員試験用)、公務員試験の文章理解、四字熟語			
	2	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	3	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	4	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	5	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	6	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	7	文章理解、国語	文章理解(内容把握)、四字熟語			
	8	文章理解、国語	文章理解(空欄補充)、四字熟語			
	9	文章理解、国語	文章理解(空欄補充)、四字熟語			
	10	文章理解、国語	文章理解(文章整序)、四字熟語			
	11	文章理解、国語	文章理解(文章整序)、四字熟語			
	12	文章理解、国語	文章理解過去問チェック、四字熟語			
	13	国語	国語過去問チェック、四字熟語			
	14	文章理解、国語	消防官採用試験の傾向分析、四字熟語			
15	文章理解、国語	SPI対策、四字熟語				

授業科目 (科目ID)	表現基礎 22e103		担当教員 (実務経験)	湊 久恵 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義・演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	公務員試験の作文や実習の日誌、レポートなどを体裁良く書ける。					
到達目標	漢検3級以上を取得する。公務員試験に合格する国語力をつける。					
テキスト・ 参考図書等	・漢検 漢字学習トレーニング3/準2/2級 改訂第二版 (日本漢字能力検定協会 編) ・オリジナルプリント					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験、小テスト、提出物の評価基準(100点満点に換算) 評価基準A(十分に満足) 80点以上 評価基準B(おおむね満足) 60~79点 評価基準C(努力を要する) 59点以下 定期試験・小テスト・提出物等を基に総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	10%				
その他	10%					
履修上の 留意事項	・手書きでの提出物は楷書で丁寧に書き、鉛筆は濃いもの(BかHB)を使用すること。・初心を忘れず、私語、携帯の使用、居眠りなどはしないように。・課題の未提出及び提出に値しない内容のものは、再提出とする。・漢字検定は必ず3級を取得すること。3級既得者は、1ランク上の級を取得すること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題		履修内容		
	1	作文1		現在の自分の作文力を知る		
	2	作文2		作文のルール		
	3	作文3		高校の恩師への手紙		
	4	作文4		封筒の書き方など手紙のルール		
	5	作文5		作文のルールにより実作		
	6	作文6		読む人を意識する		
	7	作文7		わかりやすい文章とは1		
	8	作文8		わかりやすい文章とは2		
	9	作文9		指示語		
	10	作文10		内容のまとめ		
	11	作文11		選ぶべき題材		
	12	作文12		文章の構成		
	13	作文13		本番のように書いてみる		
	14	レポートの書き方		実習日誌やレポートの意義		
15	面接カード、エントリーシートの書き方		書き方一つで合否に影響			

授業科目 (科目ID)	情報処理 22e104		担当教員 (実務経験)	赤尾 みどり 情報処理系企業にてシステム開発に従事しており、当該科目の教育を行う 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	この授業は、本校における学習に必要な情報リテラシーを身につけることを目的とし、コンピュータ操作法の基礎を学ぶ。また、文書処理ソフト、表計算ソフト、プレゼン作成ソフトなどを活用したビジネス情報の処理ができる。パソコンを有効活用するための知識と操作法を習得する。					
到達目標	①文書処理ソフトを使ってレポートが作成できる。②表計算ソフトを使って表や図が作成できる。③プレゼンテーションソフトを使ってスライドが作成できる。					
テキスト・参考図書等	必要に応じてプリントを配付					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	50%	各試験の平均点50%・提出物状況50%を基に総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	50%				
履修上の留意事項	①授業は指定の教室で行なうので時間までに着席していること。②説明と実習(実習がメイン)、高校の必修教科「情報」で学ぶWindowsの基本操作(日本語入力、フォルダの新規作成、ファイルの移動・コピー、開く・閉じる等)は、既習であることを前提とする。③積み重ねの演習が多いので休まずに出席すること。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	情報処理の基礎Ⅰ	インターネットの基礎(情報セキュア・著作権等)、iPadの設定と基本操作、Googleアプリの設定			
	2	情報処理の基礎Ⅱ	Googleアプリの基礎(ドライブの設定、アプリの使い方、Gメールの送受信)			
	3	文書化の基本Ⅰ	効率的な文字入力と変換、記号の出し方、辞書の使い方			
	4	文書化の基本Ⅱ	作表、画像・図形の利用			
	5	文書化の基本Ⅲ	練習問題			
	6	表計算ソフトの活用Ⅰ	データ入力とワークシートの編集			
	7	表計算ソフトの活用Ⅱ	四則演算と関数の基礎、作表と編集(1)			
	8	表計算ソフトの活用Ⅲ	四則演算と関数の基礎、作表と編集(2)			
	9	表計算ソフトの活用Ⅳ	グラフ表現の要点とグラフ作成			
	10	表計算ソフトの活用Ⅴ	練習問題			
	11	プレゼンテーションソフトの活用Ⅰ	スライド編集、文字装飾と図形の活用			
	12	プレゼンテーションソフトの活用Ⅱ	特殊効果(グラフ、図形の活用)、表・画像の挿入			
	13	プレゼンテーションソフトの活用Ⅲ	資料作成とプレゼンの作成(1)			
	14	プレゼンテーションソフトの活用Ⅳ	資料作成とプレゼンの作成(2)			
15	プレゼンテーションソフトの活用Ⅴ	総合演習、プレゼンテーション				

授業科目 (科目ID)	生命と健康 22e105	担当教員 (実務経験)	本間宗一郎 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	10	時間数	20時間
授業目的	・生命と健康をめぐる現代社会の諸問題を倫理的視点から考える方法を学ぶ。				
到達目標	・倫理学・生命倫理学の基本的な用語・考え方を理解し、その理解に基づいて生命医療の諸問題に対する自身の考えを述べられるようになる。				
テキスト・ 参考図書等	・スライド資料を用意する ・参考図書:改訂版 入門・医療倫理(赤林朗編、勁草書房、2017年)、はじめて出会う生命倫理(玉井・大谷編、有斐閣、2011年)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート・提出物等を基に総合的に評価する。		
	レポート	70%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	適宜参考文献を紹介するので可能な範囲で目を通して問題の背景を理解することが望ましい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	イントロダクション	講義内容の概観、進め方、評価基準、生命倫理学についての説明など		
	2	倫理学概論	倫理学という学問がどのようなものかについての説明		
	3	規範倫理学① 帰結主義	幸福・不幸に代表される帰結を重要視する帰結主義についての検討		
	4	規範倫理学② 義務論	帰結に尽きない要素を重要視する義務論についての検討		
	5	規範倫理学③ 徳倫理学	有徳な者の行為を範例とする徳倫理学についての検討		
	6	生命倫理① 健康・病気・障害	医療が向き合う健康・病気・障害とは何かについての吟味		
	7	生命倫理② インフォームド・コンセントと自律	インフォームド・コンセントの意義と自律にまつわる諸問題の検討		
	8	生命倫理③ 生殖医療	生命の誕生にまつわる自己決定と諸問題の検討		
	9	生命倫理④ 終末期医療と安楽死・尊厳死	死の間際における自己決定と諸問題の検討		
	10	まとめ	これまでの内容の復習と補足、期末レポートの説明		
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	教養 I 22e106	担当教員 (実務経験)	工藤 哲也 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	公務員試験の一般知能分野へ対応すべく、数学の基礎的な知識や文章読解をベースに、解答を導くための論理的思考方法を学ぶ。				
到達目標	各単元の基礎問題が各自で解答できるようになる。				
テキスト・参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> 絶対合格シリーズ: 数的推理・資料解釈 絶対合格シリーズ: 判断推理・空間把握 				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験・小テスト・提出物等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	講義および問題演習中心の授業となるが、受身にならずに自ら積極的に解答すること。授業だけではなく家庭でも反復練習をすることにより実力が更にアップする。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	公務員試験概要 (工藤)	救急救命士への道のりについて・試験問題解説		
	2	数的推理 (工藤)	濃度①		
	3	数的推理 (工藤)	濃度②		
	4	数的推理 (工藤)	年齢①		
	5	数的推理 (工藤)	年齢②		
	6	判断推理 (阿部)	対応関係①		
	7	数的推理 (工藤)	年齢③		
	8	判断推理 (阿部)	対応関係②		
	9	数的推理 (工藤)	仕事算①		
	10	判断推理 (阿部)	集合・人数		
	11	数的推理 (工藤)	仕事算②		
	12	判断推理 (阿部)	順序関係①		
	13	数的推理 (工藤)	旅人算①		
	14	判断推理 (阿部)	順序関係②		
15	数的推理 (工藤)	旅人算②			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	判断推理 (阿部)	試合・勝敗①
	17	数の推理 (工藤)	通過算
	18	判断推理 (阿部)	試合・勝敗②
	19	数の推理 (工藤)	流水算
	20	判断推理 (阿部)	位置・方位①
	21	数の推理 (工藤)	一次方程式
	22	判断推理 (阿部)	位置・方位②
	23	数の推理 (工藤)	連立方程式
	24	判断推理 (阿部)	暗号
	25	数の推理 (工藤)	不等式
	26	判断推理 (阿部)	手順
	27	数の推理 (工藤)	売買損益
	28	判断推理 (阿部)	暦・カレンダー
	29	数の推理 (工藤)	まとめ
30	判断推理 (阿部)	まとめ	

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	心理学 22e107	担当教員 (実務経験)	新井田 光希 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	10	時間数	20時間
授業目的	人間の判断や行動をとらえ直し、ヒューマン・エラーを事故に直結させないための様々な方策を、認知心理学や社会心理学観点から考えていく。個々の患者さんに合った心理的援助の方法を臨床心理学の観点から考えていく。				
到達目標	ヒューマン・エラーを事故に直結させないための様々な方策を予測できる。				
テキスト・参考図書等	・プリント資料				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	授業は講義形式で行う。各回終了時に小テストを実施。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	認知心理学	感覚・知覚		
	2	認知心理学	記憶		
	3	認知心理学	思考		
	4	社会心理学	対人知覚		
	5	社会心理学	社会的影響		
	6	社会心理学	集団意思決定		
	7	人格心理学	人格・性格の理論		
	8	学習心理学	古典的条件づけ・オペラント条件づけ・様々な学習理論		
	9	臨床心理学・発達心理学	ストレス理論・発達理論		
	10	全体のまとめ	講義内容の総括		
	11				
	12				
	13				
	14				
15					